

参考資料 4

緊急事態等におけるハザード別の情報提供の場合分けめやす

健康影響の程度等 ハザード等の分類・種類等		現時点で健康影響は確認されていない、科学的知見に基づき今後も影響は想定されないが、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見がないあるいは十分でなく、今後の影響は不明で、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響が確認されているまたは今後影響が想定される。	備考 (1)定型作成の有無 や (2)今後想定される事案の例 など		
		①	②	③			
ハザード等の分類	ハザード等の種類等						
化学物質	基準値や参照用量等 (ARFD、ADI、TDI 等) の設定がある物質	〔ハザードの事例〕 メタミドホス、ジクロルポス、アセタミプリド	定型作成済み		H22訓練で 定型を作成	(1) 一部作成あり (H20訓練時) (2) 事案の例 X国産の農産物口口からカドミウムが検出された。	
	その他 (上記以外)	〔ハザードの事例〕 発癌物質	○			(1) 未作成 (2) 事案の例 食品口口から発癌物質△△が検出された。	
微生物・ウイルス等	調理 (加熱) 後に喫食される食品	〔ハザードの事例〕 細菌類、細菌生産毒素				(1) 未作成 (2) 事案の例 食品○○から黄色ブドウ球菌の毒素が検出された。	
	そのまま喫食される調理 (加熱) 済み食品あるいは生食される食品、調理 (加熱) 後に喫食される食品であるが調理 (加熱) が不十分な食品	〔ハザードの事例〕 細菌類、細菌生産毒素、ウイルス、寄生虫、原虫	定型作成済み			○	(1) 一部作成あり (H21訓練時) (2) 事案の例 ・X国産の生鮮果実口口からノロウイルスが検出された。 ・加熱不十分の成型肉から腸管出血性大腸菌 (O157) が検出された。
自然毒等	基準値や参照用量等の設定がある物質	〔ハザードの事例〕 アフラトキシンB1等一部カビ毒、フグ毒や麻痺性貝毒等一部マリントキシン等	○			(1) 未作成 (2) 事案の例 ○○産のムール貝の可食部から麻痺性貝毒が検出された。	
	その他 (上記以外)	〔ハザードの事例〕 カビ毒、マリントキシン、きのこ毒等				○	(1) 未作成 (2) 事案の例 加工食品○○に使用されていたきのこが毒きのこで、きのこ毒が検出された。
その他 (分類不能のもの等)		〔ハザードの事例〕 スギヒラタケ等原因不明なもの、未審査遺伝子組み換え作物				○	(1) 未作成 (2) 事案の例 未審査遺伝子組み換えとうもろこしが混入した種子により生産されたとうもろこしが販売され、一部消費された。

○: 既存の作成情報あり